

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年03月28日

石塚硝子健康保険組合

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

「特定健診・保健指導受診率」の目標達成 と 「治療放置群」の撲滅

事業全体の目標

「特定健診・保健指導受診率」目標達成率100%
「治療放置群」0%

事業の一覧

職場環境の整備

予算措置なし	健康推進委員会
--------	---------

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	減量キャンペーン
保健指導宣伝	つよい子キャンペーン
保健指導宣伝	医療費通知・ジェネリック等の告知
保健指導宣伝	健康セミナー（動画配信）
保健指導宣伝	季刊誌（健康情報誌）の発行
保健指導宣伝	育児雑誌の送付
保健指導宣伝	在宅健康応援企画
保健指導宣伝	健康保険手帳の配布
保健指導宣伝	けんぽだより★キッズ
保健指導宣伝	セルコン（若年層むけ健康増進プログラム）
保健指導宣伝	データヘルス分析
保健指導宣伝	共同保健指導宣伝
疾病予防	図書費
体育奨励	健康ウォーク
体育奨励	ウォーキングキャンペーン
その他	ホームページ
その他	高額医療貸付

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診＜被保険者＞
特定健康診査事業	特定健診＜被扶養者＞
特定保健指導事業	特定保健指導＜被保険者＞（事業所実施型）
特定保健指導事業	特定保健指導（初回完了型）＜被扶養者＞
保健指導宣伝	健康相談・医療機関紹介(メンタル対策含む)
保健指導宣伝	受診勧奨＜被保険者＞
保健指導宣伝	マイヘルスレポート/健康つうしんぼ
保健指導宣伝	被扶養者の受診率向上
保健指導宣伝	多剤対象者への通知
疾病予防	重症化予防（生活習慣病予防プログラム）
疾病予防	オプション検査（各種血液検査・眼底検査・腹部エコー）
疾病予防	前立腺がん検査
疾病予防	人間ドック
疾病予防	脳ドック
疾病予防	巡回レィス健診
疾病予防	乳がん・子宮癌検診
疾病予防	胃がん検診
疾病予防	大腸がん検査
疾病予防	禁煙プログラム
疾病予防	家庭常備薬の斡旋
疾病予防	インフルエンザ補助金
疾病予防	歯科健診
疾病予防	腸活事業
疾病予防	健診前ダイエット
疾病予防	スイッチOTC
その他	契約リゾート施設

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度			
アウトプット指標												アウトカム指標									
職場環境の整備																					
予算措置なし	1	既存	健康推進委員会	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ス	健保が実施する保健事業の報告・情報共有の場として活用	ア	安全衛生委員会での案内も含む							健保が実施する保健事業の報告・情報共有	※喫煙率： 男性は40歳以上平均は全国平均をやや下回っている。年代別では男性は特に70代、女性45-54歳が高い。 拠点別では福岡工場、東京工場が高く、HWC大阪支店は前年よりも大幅に低下している。	
会議の開催件数【実績値】13回 全体会と個別の会議の実施件数												【目標値】令和6年度：13回 令和7年度：13回 令和8年度：13回 令和9年度：13回 令和10年度：13回 令和11年度：13回)						-		(アウトカムは設定されていません)	

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	2	既存	減量キャンペーン	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ア,エ,ケ	ちょこやせキャンペーンを開催、参加者・成績優秀者表彰 参加者：1,000円 成績優秀者3,000円 抽選で1名に1万円	エ	愛知連合会共同事業として実施								健康維持・増進、ヘルスリテラシーの向上	※生活習慣： 全体的な傾向に大きな変動は見られないが、日常生活の身体活動1時間以上、毎日飲酒がやや改善し、毎日間食がやや悪化している。 男女とも全体的な傾向に大きな変動なし。男性は生活習慣改善、日常生活の身体活動が改善し、間食、10kg以上増加が悪化している。女性は毎日飲酒、10kg以上増加、週2回以上の運動、日常生活の身体活動、生活習慣改善が改善したが、食事習慣関連(朝食、間食、飲酒量)が悪化。
参加率【実績値】85% 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)												-						減量者率【実績値】71% 【目標値】令和6年度：70% 令和7年度：70% 令和8年度：70% 令和9年度：70% 令和10年度：70% 令和11年度：70%)		-	
2,5	既存	つよい子キャンペーン	全て	男女	1～9	被扶養者,基準該当者	1	ス	対象被扶養者に歯磨き実施日にシールを貼ることで楽しく歯磨き習慣をつけさせる	シ	-									年少児の歯磨き習慣化とかせ予防	該当なし
対象者への通知実施率【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												-						0-9歳の虫歯の罹患者数減少【実績値】3人 【目標値】令和6年度：5人 令和7年度：5人 令和8年度：5人 令和9年度：5人 令和10年度：5人 令和11年度：5人)		-	
7	既存	医療費通知・ジェネリック等の告知	全て	男女	18～74	加入者全員	1	キ,ク	・該当者へ年4回の医療費通知と合わせて個別にジェネリックの通知書を送付 ・カード証発行時に専用シールを貼り、チラシもつけて渡す 広報誌に掲載。該当者へ年4回の医療費通知と合わせて個別にジェネリックの通知書を送付 ・広報誌にも掲載	シ	-									加入者及び健康保険組合の医療費負担軽減	疾病分類別給付構成比 本人は循環器系疾患が最も高く、次いで新生物、消化器系疾患が高い。 家族は呼吸器系疾患が最も高く、次いで損傷・中毒等、筋骨格系疾患が高い。
ジェネリック等の告知実施率、シールの配布実施【実績値】 - 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												-						後発医薬品数量割合【実績値】89.3% 【目標値】令和6年度：90% 令和7年度：90% 令和8年度：90% 令和9年度：90% 令和10年度：90% 令和11年度：90%)		-	
5	新規	健康セミナー(動画配信)	一部の事業所	男女	18～74	加入者全員	3	エ,ケ	喫煙者・運動・睡眠・食事の内容を配信。積極的保健指導対象者を優先として通知する。	ア		場所の確保・参加時のフォローアップとして看護師が関与 事業所・労組からも案内を実施								ヘルスリテラシーの向上	※生活習慣： 全体的な傾向に大きな変動は見られないが、日常生活の身体活動1時間以上、毎日飲酒がやや改善し、毎日間食がやや悪化している。 男女とも全体的な傾向に大きな変動なし。男性は生活習慣改善、日常生活の身体活動が改善し、間食、10kg以上増加が悪化している。女性は毎日飲酒、10kg以上増加、週2回以上の運動、日常生活の身体活動、生活習慣改善が改善したが、食事習慣関連(朝食、間食、飲酒量)が悪化。
対象者への通知実施率【実績値】 - 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												積極的保健指導対象者を優先として通知する。						運動習慣実施割合【実績値】25.2% 【目標値】令和6年度：28% 令和7年度：29% 令和8年度：30% 令和9年度：30% 令和10年度：30% 令和11年度：30%)		1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施の割合	

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
5	既存	季刊誌（健康情報誌）の発行	全て	男女	0～74	加入者全員、定年退職予定者	3	ス	HPにも掲載し、各種の情報提供を実施 年1回は自宅への郵送とする（単身赴任者は職場にも送付）	-	-	・HPは毎月更新 ・冊子は年1回実施（健康分析の結果の課題10項目を記載予定）	・HPは毎月更新 ・冊子は年1回実施（健康分析の結果の課題10項目を記載予定）	・HPは毎月更新 ・冊子は年1回実施（健康分析の結果の課題10項目を記載予定）	・HPは毎月更新 ・冊子は年1回実施（健康分析の結果の課題10項目を記載予定）	・HPは毎月更新 ・冊子は年1回実施（健康分析の結果の課題10項目を記載予定）	・HPは毎月更新 ・冊子は年1回実施（健康分析の結果の課題10項目を記載予定）	健康寿命の延伸を目的とした健康リテラシーの向上	該当なし
HPの更新回数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)-												情報提供のため (アウトカムは設定されていません)							
5	新規	育児雑誌の送付	全て	男女	16～74	被保険者	3	ク	初産児家庭に1歳まで育児冊子を配布、生活習慣改善を図る。	シ	1歳まで：毎月1冊、12ヶ月	配布の実施アンケートの収集	配布の実施アンケートの収集	配布の実施アンケートの収集	配布の実施アンケートの収集	配布の実施アンケートの収集	配布の実施アンケートの収集	育児を通して、禁煙など生活習慣の見直しをはかる。望ましい生活習慣の動機付けを目指す。	該当なし
情報提供のため (アウトプットは設定されていません)												情報提供 (アウトカムは設定されていません)							
5	新規	在宅健康応援企画	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	1	ア,エ	在宅中の運動不足・間食増の対策としてWEBセミナーを開催（年間開催） スマートフォンから申し込み、先着250名/月で実施 対象者は動画視聴でポイントが付与される仕組み 最大 月5回 1回100ポイント付与 健保から月1回以上で達成ポイントとして付与2,000ポイント	シ	(株)キリン様のサービスを利用	年2回募集（4月・9月開始）	年2回募集（4月・9月開始）	年2回募集（4月・9月開始）	年2回募集（4月・9月開始）	年2回募集（4月・9月開始）	年2回募集（4月・9月開始）	在宅中の運動不足・間食増の対策 以上増加が悪化している。女性は毎日飲酒、10kg以上増加、週2回以上の運動、日常生活の身体活動、生活習慣改善が改善したが、食事習慣関連（朝食、間食、飲酒量）が悪化。	※生活習慣： 全体的な傾向に大きな変動は見られないが、日常生活の身体活動1時間以上、毎日飲酒がやや改善し、毎日間食がやや悪化している。 男女とも全体的な傾向に大きな変動なし。男性は生活習慣改善、日常生活の身体活動が改善し、間食、10kg以上増加が悪化している。女性は毎日飲酒、10kg以上増加、週2回以上の運動、日常生活の身体活動、生活習慣改善が改善したが、食事習慣関連（朝食、間食、飲酒量）が悪化。
参加者数(【実績値】 294人 【目標値】 令和6年度：300人 令和7年度：300人 令和8年度：300人 令和9年度：300人 令和10年度：300人 令和11年度：300人)-												運動習慣実施率(【実績値】 25.2% 【目標値】 令和6年度：28% 令和7年度：29% 令和8年度：30% 令和9年度：30% 令和10年度：30% 令和11年度：30%)1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施の割合							
-												間食割合(【実績値】 23.6% 【目標値】 令和6年度：23% 令和7年度：22% 令和8年度：21% 令和9年度：20% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上ある。							
5	既存	健康保険手帳の配布	全て	男女	18～74	被保険者	1	ク	希望者への配布	シ	-	希望者への配布	希望者への配布	希望者への配布	希望者への配布	希望者への配布	希望者への配布	健康管理の意識向上	該当なし
印刷数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：850冊 令和7年度：850冊 令和8年度：850冊 令和9年度：850冊 令和10年度：850冊 令和11年度：850冊)-												(アウトカムは設定されていません)							
5	新規	けんぼだより★キッズ	全て	男女	9～12	被扶養者	1	ス	-	工	-	年1回配布 遠隔セミナー実施	年1回配布 遠隔セミナー実施	年1回配布 遠隔セミナー実施	年1回配布 遠隔セミナー実施	年1回配布 遠隔セミナー実施	年1回配布 遠隔セミナー実施	小学生の子供を持つ親への情報提供と。子ども自身のリテラシー向上	該当なし
配布対象者(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100人 令和7年度：100人 令和8年度：100人 令和9年度：100人 令和10年度：100人 令和11年度：100人)-												-							
5	新規	セルコン（若年層むけ健康増進プログラム）	全て	男女	39～39	被保険者	1	ク,ケ	特定保健指導相当の方に、複数コースから自己改善のためのサポートの実施（2か月間）	シ	委託により実施	年1回実施（8月開始予定）	年1回実施（8月開始予定）	年1回実施（8月開始予定）	年1回実施（8月開始予定）	年1回実施（8月開始予定）	年1回実施（8月開始予定）	40歳到達時の特定保健指導対象者の減少	※生活習慣病の状況/生活習慣病リスク該当率 肥満：全体では昨年より減少。 年代別では35歳以降で高く、特に45～49歳が高い。拠点別では東京工場、HWC大阪支店が高い。 メタボリックシンドローム 全体としては1.1ポイント減少。年代別では45歳以上で高く、特に65歳以上で大幅に増加している。 拠点別ではHWC大阪支店、東京工場が高い。 保健指導レベル 全体としては1.1ポイント減少。年代別では40～44歳で大幅減少、70歳以上では特に増加している。 拠点別では東京工場、HWC大阪支店、ウイストンが高い ※喫煙率： 男性は40歳以上平均は全国平均をやや下回っている。年代別では男性は特に70代、女性45～54歳が高い。 拠点別では福岡工場、東京工場が高く、HWC大阪支店は前年よりも大幅に低下している。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画											
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度				
アウトプット指標												アウトカム指標												
参加率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50% 令和7年度：55% 令和8年度：60% 令和9年度：65% 令和10年度：70% 令和11年度：70%)参加者数/対象者												40歳の特定保健指導対象割合(【実績値】 17.3% 【目標値】 令和6年度：16% 令和7年度：15% 令和8年度：15% 令和9年度：15% 令和10年度：15% 令和11年度：15%)R5年度 40歳の4名/23名												
1	既存	データヘルス分析	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	キ,ク	-	ア	外部委託により実施	・決算組合会での報告 ・事業所別レポート作成	・決算組合会での報告 ・事業所別レポート作成	・決算組合会での報告 ・事業所別レポート作成	・決算組合会での報告 ・事業所別レポート作成	・決算組合会での報告 ・事業所別レポート作成	・決算組合会での報告 ・事業所別レポート作成	保健事業の現状把握 (Check) と改善 (Act) の検討	<p>※生活習慣病の状況/生活習慣病リスク該当率 肥満：全体では昨年より減少。年代別では35歳以降で高く、特に45~49歳が高い。拠点別では東京工場、HWC大阪支店が高い。 メタボリックシンドローム 全体としては1.1ポイント減少。年代別では45歳以上で高く、特に65歳以上で大幅に増加している。拠点別ではHWC大阪支店、東京工場が高い。 保健指導レベル 全体としては1.1ポイント減少。年代別では40~44歳で大幅減少、70歳以上では特に増加している。 拠点別では東京工場、HWC大阪支店、ウイストンが高い</p> <p>※喫煙率： 男性は40歳以上平均は全国平均をやや下回っている。年代別では男性は特に70代、女性45-54歳が高い。 拠点別では福岡工場、東京工場が高く、HWC大阪支店は前年よりも大幅に低下している。</p> <p>※生活習慣： 全体的な傾向に大きな変動は見られないが、日常生活の身体活動1時間以上、毎日飲酒がやや改善し、毎日間食がやや悪化している。 男女とも全体的な傾向に大きな変動なし。男性は生活習慣改善、日常生活の身体活動が改善し、間食、10kg以上増加が悪化している。女性は毎日飲酒、10kg以上増加、週2回以上の運動、日常生活の身体活動、生活習慣改善が改善したが、食事習慣関連 (朝食、間食、飲酒量) が悪化。</p> <p>受診勧奨以上該当者の医療機関受診状況 年齢の上昇とともに生活習慣病関連の受診勧奨以上該当率は増加傾向。特に60歳以上が高くなっている。 血糖の受診勧奨以上該当率は、昨年より1.4ポイント上昇し、全国平均も上回っている。 血圧、脂質とも受診勧奨以上該当率は全国平均より高い。血圧判定、家族の脂質判定は年齢にともない増加傾向にあるが、それ以外はかわらず一定数が該当している</p> <p>疾病分類別給付費構成比 本人は循環器系疾患が最も高く、次いで新生物、消化器系疾患が高い。 家族は呼吸器系疾患が最も高く、次いで損傷・中毒等、筋骨格系疾患が高い。</p>					
報告会(【実績値】 2回 【目標値】 令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-												各事業で評価のため (アウトカムは設定されていません)												
5	既存	共同保健指導 宣伝	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員,その他	1	ス	健保連への拠出	ク,シ	連合会と共催	-	-	-	-	-	-	該当なし (これまでの経緯等で実施する事業)						

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
疾病予防	5	新規	図書費	全て	男女	0～(上限なし)	その他	1	ス		サ,シ							<p>※生活習慣病の状況/生活習慣病リスク該当率 肥満：全体では昨年より減少。年代別では35歳以降で高く、特に45~49歳が高い。拠点別では東京工場、HWC大阪支店が高い。メタボリックシンドローム全体としては1.1ポイント減少。年代別では45歳以上で高く、特に65歳以上で大幅に増加している。拠点別ではHWC大阪支店、東京工場が高い。保健指導レベル 全体としては1.1ポイント減少。年代別では40~44歳で大幅減少、70歳以上では特に増加している。拠点別では東京工場、HWC大阪支店、ウイストンが高い</p> <p>※喫煙率： 男性は40歳以上平均は全国平均をやや下回っている。年代別では男性は特に70代、女性45~54歳が高い。拠点別では福岡工場、東京工場が高く、HWC大阪支店は前年よりも大幅に低下している。</p> <p>受診勧奨以上該当者の医療機関受診状況 年齢の上昇とともに生活習慣病関連の受診勧奨以上該当率は増加傾向。特に60歳以上が高くなっていく。 血糖の受診勧奨以上該当率は、昨年より1.4ポイント上昇し、全国平均も上回っている。 血圧、脂質とも受診勧奨以上該当率は全国平均より高い。血圧判定、家族の脂質判定は年齢にともない増加傾向にあるが、それ以外はかわらず一定数が該当している</p>	<p>高血圧対策・がん予防対策等、保健事業の推進</p>	
体育奨励	5	既存	健康ウォーク	一部の事業所	男女	0~74	加入者全員	1	ア	健康連ウォークと	ク	健康連により企画されたコースを歩く	秋に開催	秋に開催	秋に開催	秋に開催	秋に開催	秋に開催	ウォーキング参加を促し、運動習慣をつけさせる	<p>※生活習慣： 全体的な傾向に大きな変動は見られないが、日常生活の身体活動1時間以上、毎日飲酒がやや改善し、毎日間食がやや悪化している。男女とも全体的な傾向に大きな変動なし。男性は生活習慣改善、日常生活の身体活動が改善し、間食、10kg以上増加が悪化している。女性は毎日飲酒、10kg以上増加、週2回以上の運動、日常生活の身体活動、生活習慣改善が改善したが、食事習慣関連(朝食、間食、飲酒量)が悪化。</p>
実施案内の通知(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												運動習慣実施割合(【実績値】25.2% 【目標値】令和6年度：28% 令和7年度：29% 令和8年度：30% 令和9年度：30% 令和10年度：30% 令和11年度：30%)					1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施の割合			

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連		
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度	
アウトプット指標												アウトカム指標									
	5	既存	ウォーキングキャンペーン	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ア,エ	スマートフォンを活用し総合順位による評価し商品を配布(上位50名)	エ	ウォーキングキャンペーンの実施	通年実施	通年実施	通年実施	通年実施	通年実施	通年実施	健康維持・増進	※生活習慣：全体的な傾向に大きな変動は見られないが、日常生活の身体活動1時間以上、毎日飲酒がやや改善し、毎日間食がやや悪化している。男女とも全体的な傾向に大きな変動なし。男性は生活習慣改善、日常生活の身体活動が改善し、間食、10kg以上増加が悪化している。女性は毎日飲酒、10kg以上増加、週2回以上の運動、日常生活の身体活動、生活習慣改善が改善したが、食事習慣関連(朝食、間食、飲酒量)が悪化。	
参加人数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100人 令和7年度：100人 令和8年度：100人 令和9年度：100人 令和10年度：100人 令和11年度：100人)-												運動習慣実施割合【実績値】 25.2% 【目標値】 令和6年度：26% 令和7年度：27% 令和8年度：28% 令和9年度：29% 令和10年度：30% 令和11年度：30%)1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施の割合									
その他	5	新規	ホームページ	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	エ	運動・食事系のコンテンツを提供・スマートフォンでも閲覧可能加入者への健康保険の各種申請についてはQ&Aを記載し事務効率化を図る	シ	LINE連携、健康雑誌閲覧などHP接続活用度の向上に向けた環境づくりの実施	月4回健康に関する情報提供の実施	月4回健康に関する情報提供の実施	月4回健康に関する情報提供の実施	月4回健康に関する情報提供の実施	月4回健康に関する情報提供の実施	月4回健康に関する情報提供の実施	加入者への健康保険の各種申請書のダウンロード保健事業等に関するタイムリーな情報提供の実施	該当なし	
情報提供の実施回数【実績値】 48回 【目標値】 令和6年度：48回 令和7年度：48回 令和8年度：48回 令和9年度：48回 令和10年度：48回 令和11年度：48回)健康関連の情報提供回数(健康コラム)												アクセス数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：-件 令和7年度：-件 令和8年度：-件 令和9年度：-件 令和10年度：-件 令和11年度：-件)-									
	8	既存(法定)	高額医療貸付	全て	男女	0～(上限なし)	基準該当者	1	ス		シ								法定の貸付制度	該当なし	
個別の事業																					
特定健康診査事業	3	既存	特定健診<被保険者>	全て	男女	40～74	被保険者	3	イ,ケ	定期健診結果の確実な収集	ア,イ,ウ,コ	定期健診受診状況の確認。未受診者をチェックし全員の結果を収集出来る様、事業所に働きかける	4・5月の会社の定期健診にて実施	4・5月の会社の定期健診にて実施	4・5月の会社の定期健診にて実施	4・5月の会社の定期健診にて実施	4・5月の会社の定期健診にて実施	4・5月の会社の定期健診にて実施	特定健診の受診率向上、健康状態の把握による疾病の予防および早期発見	※生活習慣病の状況/生活習慣病リスク該当率 肥満：全体では昨年より減少。年代別では35歳以降で高く、特に45-49歳が高い。拠点別では東京工場、HWC大阪支店が高い。メタボリックシンドローム全体としては1.1ポイント減少。年代別では45歳以上で高く、特に65歳以上で大幅に増加している。拠点別ではHWC大阪支店、東京工場が高い。保健指導レベル 全体としては1.1ポイント減少。年代別では40-44歳で大幅減少、70歳以上では特に増加している。拠点別では東京工場、HWC大阪支店、ウイストンが高い	
特定健診実施率(被保険者)【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：96% 令和7年度：96% 令和8年度：96% 令和9年度：96% 令和10年度：96% 令和11年度：96%)-												内臓脂肪症候群該当者割合【実績値】 26.5% 【目標値】 令和6年度：25% 令和7年度：25% 令和8年度：25% 令和9年度：25% 令和10年度：25% 令和11年度：25%)-									

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
3		既存(法定)	特定健診<被扶養者>	全て	男女	40~74	被扶養者、基準該当者、任意継続者	1	ア,キ,ク,ケ	対象者データを業者へ提供し、DM発送指定医療機関の場合は婦人科検診を自己負担なしで受診可能とする被扶養者にアンケート調査の実施	カ	巡回レディス健診、指定医療機関で実施	インセンティブの増加1,000円→2,000円 受診可能な医療機関を増加し 対象者の増加を目指すアンケートの実施	案内の実施アンケート実施	案内の実施アンケート実施	案内の実施アンケート実施	案内の実施アンケート実施	案内の実施アンケート実施	被扶養者の特定健診受診率の向上、健康状態の把握による疾病予防及び早期発見	※生活習慣病の状況/生活習慣病リスク該当率 肥満：全体では昨年より減少。年代別では35歳以降で高く、特に45~49歳が高い。拠点別では東京工場、HWC大阪支店が高い。 メタボリックシンドローム 全体としては1.1ポイント減少。年代別では45歳以上で高く、特に65歳以上で大幅に増加している。 拠点別ではHWC大阪支店、東京工場が高い。 保健指導レベル 全体としては1.1ポイント減少。年代別では40~44歳で大幅減少、70歳以上では特に増加している。 拠点別では東京工場、HWC大阪支店、ウイストンが高い
特定健診実施率(被扶養者) (【実績値】55.7% 【目標値】令和6年度：60% 令和7年度：65% 令和8年度：70% 令和9年度：70% 令和10年度：70% 令和11年度：70%)												内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】26.5% 【目標値】令和6年度：25% 令和7年度：25% 令和8年度：25% 令和9年度：25% 令和10年度：25% 令和11年度：25%)								
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導<被保険者>(事業所実施型)	全て	男女	40~74	被保険者、基準該当者	3	ア,エ,オ,ク,ケ,サ	工場勤務者は事業所内で遠隔での保健指導を実施 営業担当者は個人で場所を確保し実施 一部事業所は集合型で実施 一部プログラムでは、 ・減量達成時のインセンティブを実施 ・血糖値測定器を貸出、測定するプログラムも実施	ア,ウ	保健指導は外部委託	定期健診の2か月後より対象者への案内を実施(9月から) 健診結果でも対象者である旨を通知 一部事業所では栄養指導に加えて、運動能力測定を実施し、行動変容を促す。	定期健診の2か月後より対象者への案内を実施(9月から) 健診結果でも対象者である旨を通知	定期健診の2か月後より対象者への案内を実施(9月から) 健診結果でも対象者である旨を通知	定期健診の2か月後より対象者への案内を実施(9月から) 健診結果でも対象者である旨を通知	定期健診の2か月後より対象者への案内を実施(9月から) 健診結果でも対象者である旨を通知	定期健診の2か月後より対象者への案内を実施(9月から) 健診結果でも対象者である旨を通知	特定保健指導の実施率向上により、生活習慣病リスク保有者の生活習慣・健康状態の改善による労働力強化と医療費適正化、後期高齢者支援金の加算回避と減算獲得による健保財政への貢献	※生活習慣病の状況/生活習慣病リスク該当率 肥満：全体では昨年より減少。年代別では35歳以降で高く、特に45~49歳が高い。拠点別では東京工場、HWC大阪支店が高い。 メタボリックシンドローム 全体としては1.1ポイント減少。年代別では45歳以上で高く、特に65歳以上で大幅に増加している。 拠点別ではHWC大阪支店、東京工場が高い。 保健指導レベル 全体としては1.1ポイント減少。年代別では40~44歳で大幅減少、70歳以上では特に増加している。 拠点別では東京工場、HWC大阪支店、ウイストンが高い ※喫煙率： 男性は40歳以上平均は全国平均をやや下回っている。年代別では男性は特に70代、女性45~54歳が高い。 拠点別では福岡工場、東京工場が高く、HWC大阪支店は前年よりも大幅に低下している。 ※生活習慣： 全体的な傾向に大きな変動は見られないが、日常生活の身体活動1時間以上、毎日飲酒がやや改善し、毎日間食がやや悪化している。 男女とも全体的な傾向に大きな変動なし。男性は生活習慣改善、日常生活の身体活動が改善し、間食、10kg以上増加が悪化している。女性は毎日飲酒、10kg以上増加、週2回以上の運動、日常生活の身体活動、生活習慣改善が改善したが、食事習慣関連(朝食、間食、飲酒量)が悪化。 受診勧奨以上該当者の医療機関受診状況 年齢の上昇とともに生活習慣病関連の受診勧奨以上該当率は増加傾向。特に60歳以上が高くなっている。 血糖の受診勧奨以上該当率は、昨年より1.4ポイント上昇し、全国平均も上回っている。 血圧、脂質とも受診勧奨以上該当率は全国平均より高い。血圧判定、家族の脂質判定は年齢にともない増加傾向にあるが、それ以外はかわらず一定数が該当している

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
4	既存	受診勧奨<被保険者>	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者,基準該当者	2	イ,ウ,オ,ク	有所見者のうち受診状況をもとに対象者を選定(主に未通院者)レセプトを確認し、未受診者へは再度案内を郵送	ア,イ	有所見者について産業医・看護師と連携し面談を実施生活健康指導・受診勧奨につなげる	健康診断実施後に対象者への面談実施その後レセプトを確認し未受診者への通知を実施	健康診断実施後に対象者への面談実施その後レセプトを確認し未受診者への通知を実施	健康診断実施後に対象者への面談実施その後レセプトを確認し未受診者への通知を実施	健康診断実施後に対象者への面談実施その後レセプトを確認し未受診者への通知を実施	健康診断実施後に対象者への面談実施その後レセプトを確認し未受診者への通知を実施	健康診断実施後に対象者への面談実施その後レセプトを確認し未受診者への通知を実施	有所見者のフォローアップとして生活習慣の改善ならびに要医療者への医療機関への受診促進	※生活習慣病の状況/生活習慣病リスク該当率 肥満：全体では昨年より減少。年代別では35歳以降で高く、特に45~49歳が高い。拠点別では東京工場、HWC大阪支店が高い。 メタボリックシンドローム 全体としては1.1ポイント減少。年代別では45歳以上で高く、特に65歳以上で大幅に増加している。 拠点別ではHWC大阪支店、東京工場が高い。 保健指導レベル 全体としては1.1ポイント減少。年代別では40~44歳で大幅減少、70歳以上では特に増加している。 拠点別では東京工場、HWC大阪支店、ウイストンが高い	
受診勧奨の実施回数(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-												有所見者の医療機関受診率(【実績値】82.8% 【目標値】令和6年度：83% 令和7年度：84% 令和8年度：85% 令和9年度：85% 令和10年度：85% 令和11年度：85%)						要医療者のうちの受診割合(受診勧奨以上該当) 12月時点の状況		
3,4	既存	マイヘルスレポート/健康つうしんぼ	全て	男女	40～(上限なし)	加入者全員	1	エ	個人の状況に応じた指導案内書を作成特定保健指導の参加勧奨も兼ねる	シ	被保険者：法研中部 被扶養者：スギ薬局	健康診断終了後2か月後に送付 職場に送付	健康診断終了後2か月後に送付 職場に送付	健康診断終了後2か月後に送付 職場に送付	健康診断終了後2か月後に送付 職場に送付	健康診断終了後2か月後に送付 職場に送付	健康診断終了後2か月後に送付 職場に送付	個人ごとへの健康改善目標の提示による行動変容 特定保健指導の参加勧奨	※生活習慣病の状況/生活習慣病リスク該当率 肥満：全体では昨年より減少。年代別では35歳以降で高く、特に45~49歳が高い。拠点別では東京工場、HWC大阪支店が高い。 メタボリックシンドローム 全体としては1.1ポイント減少。年代別では45歳以上で高く、特に65歳以上で大幅に増加している。 拠点別ではHWC大阪支店、東京工場が高い。 保健指導レベル 全体としては1.1ポイント減少。年代別では40~44歳で大幅減少、70歳以上では特に増加している。 拠点別では東京工場、HWC大阪支店、ウイストンが高い ※生活習慣： 全体的な傾向に大きな変動は見られないが、日常生活の身体活動1時間以上、毎日飲酒がやや改善し、毎日間食がやや悪化している。 男女とも全体的な傾向に大きな変動なし。男性は生活習慣改善、日常生活の身体活動が改善し、間食、10kg以上増加が悪化している。女性は毎日飲酒、10kg以上増加、週2回以上の運動、日常生活の身体活動、生活習慣改善が改善したが、食事習慣関連(朝食、間食、飲酒量)が悪化。	
レポート送付割合(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												40歳以上の被保険者全員への送付						特定保健指導実施率(【実績値】81.1% 【目標値】令和6年度：82% 令和7年度：83% 令和8年度：84% 令和9年度：85% 令和10年度：85% 令和11年度：85%)-		
3	新規	被扶養者の受診率向上	全て	男女	40~74	被扶養者,任意継続者	1	ア,ク,ケ	40歳以上の健診未受診者を抽出してDM発送、通院中や巡回レディースや人間ドックで予約していない層を掘り起こして受診につなげる。	シ	巡回レディース再募集3ヶ月後に対象者を抽出	受診率の向上につなげるため 受診者へはamazon電子ギフト2,000円を配布	受診率の向上につなげるため 受診者へはamazon電子ギフト2,000円を配布	受診率の向上につなげるため 受診者へはamazon電子ギフト2,000円を配布	受診率の向上につなげるため 受診者へはamazon電子ギフト2,000円を配布	受診率の向上につなげるため 受診者へはamazon電子ギフト2,000円を配布	受診率の向上につなげるため 受診者へはamazon電子ギフト2,000円を配布	受診率の向上	※生活習慣病の状況/生活習慣病リスク該当率 肥満：全体では昨年より減少。年代別では35歳以降で高く、特に45~49歳が高い。拠点別では東京工場、HWC大阪支店が高い。 メタボリックシンドローム 全体としては1.1ポイント減少。年代別では45歳以上で高く、特に65歳以上で大幅に増加している。 拠点別ではHWC大阪支店、東京工場が高い。 保健指導レベル 全体としては1.1ポイント減少。年代別では40~44歳で大幅減少、70歳以上では特に増加している。 拠点別では東京工場、HWC大阪支店、ウイストンが高い	
受診率(【実績値】48.7% 【目標値】令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%)-												受診率向上施策のため(アウトカムは設定されていません)								

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
5	新規		多剤対象者への通知	全て	男女	0～(上限なし)	基準該当者	1	ア,キ,ク,ケ,ス	該当者を抽出し、街の保健薬局での保健指導により多剤処方からの改善を目指す。	ウ,ク	共同事業として実施	対象者への案内実施	対象者への案内実施	対象者への案内実施	対象者への案内実施	対象者への案内実施	対象者への案内実施	多剤対象者該当者数の減少	該当なし
対象者への通知実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												多剤対象者数(【実績値】 30人 【目標値】 令和6年度：28人 令和7年度：26人 令和8年度：25人 令和9年度：25人 令和10年度：25人 令和11年度：25人) 6剤以上該当者 (6か月以上) かつ直近3ヶ月以内に処方あり								
疾病予防	4	新規	重症化予防(生活習慣病予防プログラム)	全て	男女	20～74	被保険者,被扶養者	1	イ,エ,カ,キ,ク,ケ	対象者抽出を依頼し、高リスク者の上位15名を上限として対象者を選定し案内を実施 6か月間でのフォローアップ実施	ウ	外部への委託にて実施	11月以降より対象者を選定し、12月～1月 案内を実施	11月以降より対象者を選定し、12月～1月 案内を実施	11月以降より対象者を選定し、12月～1月 案内を実施	11月以降より対象者を選定し、12月～1月 案内を実施	11月以降より対象者を選定し、12月～1月 案内を実施	11月以降より対象者を選定し、12月～1月 案内を実施	重症化予防策として、服薬中の管理不良者を指導により、管理状態を改善させ、重篤な疾患の発症の抑制を目指す。	※生活習慣病の状況/生活習慣病リスク該当率 肥満：全体では昨年より減少。年代別では35歳以降で高く、特に45～49歳が高い。拠点別では東京工場、HWC大阪支店が高い。 メタボリックシンドローム全体としては1.1ポイント減少。年代別では45歳以上で高く、特に65歳以上で大幅に増加している。拠点別ではHWC大阪支店、東京工場が高い。 保健指導レベル 全体としては1.1ポイント減少。年代別では40～44歳で大幅減少、70歳以上では特に増加している。 拠点別では東京工場、HWC大阪支店、ウイストンが高い
													指導開始者に対する終了者の数(完遂率)(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-							ハイリスク者の候補人数(【実績値】 32人 【目標値】 令和6年度：31人 令和7年度：30人 令和8年度：30人 令和9年度：30人 令和10年度：30人 令和11年度：30人)5年以内の脳梗塞、心筋梗塞の発症率、および生活習慣病の新規治療開始の発症率G・Hランクの人数
3	既存(法定)	オプション検査(各種血液検査・眼底検査・腹部エコー)	全て	男女	35～74	被保険者	3	サ	法定血液検査に付加して実施	ア,イ,ウ	定期健診と同時に実施 有所見該当者は事業所の医療職から受診勧奨を実施	4月～5月実施の定期健診において同時に実施 腹部エコー検査を追加	4月～5月実施の定期健診において同時に実施 腹部エコー検査を追加	4月～5月実施の定期健診において同時に実施 腹部エコー検査を追加	4月～5月実施の定期健診において同時に実施 腹部エコー検査を追加	4月～5月実施の定期健診において同時に実施 腹部エコー検査を追加	4月～5月実施の定期健診において同時に実施 腹部エコー検査を追加	4月～5月実施の定期健診において同時に実施 腹部エコー検査を追加	疾病の早期発見・早期治療	※生活習慣病の状況/生活習慣病リスク該当率 肥満：全体では昨年より減少。年代別では35歳以降で高く、特に45～49歳が高い。拠点別では東京工場、HWC大阪支店が高い。 メタボリックシンドローム全体としては1.1ポイント減少。年代別では45歳以上で高く、特に65歳以上で大幅に増加している。拠点別ではHWC大阪支店、東京工場が高い。 保健指導レベル 全体としては1.1ポイント減少。年代別では40～44歳で大幅減少、70歳以上では特に増加している。 拠点別では東京工場、HWC大阪支店、ウイストンが高い
												受診率(【実績値】 96.7% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)								
3	既存		前立腺がん検査	全て	男性	50～74	被保険者	3	イ,サ	法定血液検査に付加して実施(50歳以上対象)	ア,イ,ウ	定期健診と同時実施	定期健診と同時に実施	定期健診と同時に実施	定期健診と同時に実施	定期健診と同時に実施	定期健診と同時に実施	定期健診と同時に実施	前立腺ガンの早期発見・早期治療	疾病分類別給付費構成比 本人は循環器系疾患が最も高く、次いで新生物、消化器系疾患が高い。 家族は呼吸器系疾患が最も高く、次いで損傷・中毒等、筋骨格系疾患が高い。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連									
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画															
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度								
アウトプット指標												アウトカム指標																
受診率(【実績値】97.3% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												要医療者の受診勧奨(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)					受診勧奨対象者のうち受診人数(健保にて集計：12月診療時点)											
3,4	既存	人間ドック	全て	男女	35～74	加入者全員	1	ス	定期健診を兼ねる場合は事業主にて結果のフォローアップを実施	カ	-	通期で募集 契約施設の新設や一覧表の掲示等、受診しやすい環境の整備	通期で募集 契約施設の新設や一覧表の掲示等、受診しやすい環境の整備	通期で募集 契約施設の新設や一覧表の掲示等、受診しやすい環境の整備	通期で募集 契約施設の新設や一覧表の掲示等、受診しやすい環境の整備	通期で募集 契約施設の新設や一覧表の掲示等、受診しやすい環境の整備	通期で募集 契約施設の新設や一覧表の掲示等、受診しやすい環境の整備	疾病の早期発見、早期治療、健康意識の醸成	※生活習慣病の状況/生活習慣病リスク該当率 肥満：全体では昨年より減少。年代別では35歳以降で高く、特に45～49歳が高い。拠点別では東京工場、HWC大阪支店が高い。 メタボリックシンドローム 全体としては1.1ポイント減少。年代別では45歳以上で高く、特に65歳以上で大幅に増加している。拠点別ではHWC大阪支店、東京工場が高い。 保健指導レベル 全体としては1.1ポイント減少。年代別では40～44歳で大幅減少、70歳以上では特に増加している。 拠点別では東京工場、HWC大阪支店、ウイストンが高い									
対象者への通知実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												全社メールにて実施					有所見者の受診勧奨率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)					血糖・血圧・脂質の受診勧奨対象者のうち受診人数(健保にて集計：12月診療時点)						
3	既存	脳ドック	全て	男女	18～74	被保険者	1	オ、ケ	2年に1回費用の半額補助 一部事業所は会社の医療職経由で申し込みし結果のフォローアップを実施	シ	-	通年実施 4月に社内一斉メールにて告知	通年実施 4月に社内一斉メールにて告知	通年実施 4月に社内一斉メールにて告知	通年実施 4月に社内一斉メールにて告知	通年実施 4月に社内一斉メールにて告知	通年実施 4月に社内一斉メールにて告知	疾病の早期発見、早期治療、健康意識の醸成	疾病分類別給付費構成比 本人は循環器系疾患が最も高く、次いで新生物、消化器系疾患が高い。 家族は呼吸器系疾患が最も高く、次いで損傷・中毒等、筋骨格系疾患が高い。									
受診者数(【実績値】4人 【目標値】令和6年度：20人 令和7年度：20人 令和8年度：20人 令和9年度：20人 令和10年度：20人 令和11年度：20人)												健保確認					有所見者の受診勧奨率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)					委託先の健診結果にて通知						
3	既存	巡回レディス健診	全て	女性	20～39	被扶養者	1	キ、ク	委託者に依頼し巡回バスにより指定場所にて健診	シ	-	春の募集及び、秋の再募集の実施	春の募集及び、秋の再募集の実施	春の募集及び、秋の再募集の実施	春の募集及び、秋の再募集の実施	春の募集及び、秋の再募集の実施	春の募集及び、秋の再募集の実施	疾病の早期発見・早期治療	疾病分類別給付費構成比 本人は循環器系疾患が最も高く、次いで新生物、消化器系疾患が高い。 家族は呼吸器系疾患が最も高く、次いで損傷・中毒等、筋骨格系疾患が高い。									
対象者への通知実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												-					要医療者の受診勧奨(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)					委託先の健診結果にて通知						
3	既存	乳がん・子宮癌検診	全て	女性	18～60	被保険者	1	キ、ク、サ	年初に補助の案内(基準該当者は全額健保負担) 乳がんは40歳以上はマンモグラフィ40歳未満はエコー 子宮頸がんは全員対象 子宮体癌は50歳以上	シ	支店：定期健康診断と同時に実施 工場：契約施設の斡旋	春の募集及び、秋の再募集の実施	春の募集及び、秋の再募集の実施	春の募集及び、秋の再募集の実施	春の募集及び、秋の再募集の実施	春の募集及び、秋の再募集の実施	春の募集及び、秋の再募集の実施	各拠点の受診率のばらつきをなくす	疾病分類別給付費構成比 本人は循環器系疾患が最も高く、次いで新生物、消化器系疾患が高い。 家族は呼吸器系疾患が最も高く、次いで損傷・中毒等、筋骨格系疾患が高い。									
案内の実施回数(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)												春1回、秋に1回を予定					受診率(【実績値】55.1% 【目標値】令和6年度：56% 令和7年度：57% 令和8年度：58% 令和9年度：59% 令和10年度：60% 令和11年度：60%)					-						
3	既存	胃がん検診	全て	男女	35～74	被保険者	3	サ	胃・十二指腸透視(バリウム検査)	ア、イ、ウ	定期健診と同時実施	定期健診と同時実施	定期健診と同時実施	定期健診と同時実施	定期健診と同時実施	定期健診と同時実施	定期健診と同時実施	胃がんの早期発見・早期治療	疾病分類別給付費構成比 本人は循環器系疾患が最も高く、次いで新生物、消化器系疾患が高い。 家族は呼吸器系疾患が最も高く、次いで損傷・中毒等、筋骨格系疾患が高い。									
特定健診(被保険者)受診率(【実績値】96% 【目標値】令和6年度：96% 令和7年度：96% 令和8年度：96% 令和9年度：96% 令和10年度：96% 令和11年度：96%)												-					要医療者の受診割合(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%)					胃も含めた全体での有所見者への受診勧奨実施後の回答割合						
3	既存	大腸がん検査	全て	男女	18～74	被保険者	3	イ、サ	定期健診と同時実施	ア、イ、ウ、コ	定期健診と同時実施	定期健診と同時実施	定期健診と同時実施	定期健診と同時実施	定期健診と同時実施	定期健診と同時実施	定期健診と同時実施	大腸がんの早期発見・早期治療	疾病分類別給付費構成比 本人は循環器系疾患が最も高く、次いで新生物、消化器系疾患が高い。 家族は呼吸器系疾患が最も高く、次いで損傷・中毒等、筋骨格系疾患が高い。									

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画											
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度				
アウトプット指標												アウトカム指標												
受診率(【実績値】96% 【目標値】令和6年度：96% 令和7年度：96% 令和8年度：96% 令和9年度：96% 令和10年度：96% 令和11年度：96%)-												要医療者の受診割合(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%)大腸も含めた全体での有所見者への受診勧奨実施後の回答割合												
5	新規	禁煙プログラム	全て	男女	20～74	基準該当者	1	エ,キ,ク,ケ	定期健診問診票データで喫煙習慣ありの対象者へDM送付し禁煙チャレンジにウ,ケ参加いただく	ウ,ケ	外部への紹介 禁煙外来での補助も可能	年2回対象者への案内実施	年2回対象者への案内実施	年2回対象者への案内実施	年2回対象者への案内実施	年2回対象者への案内実施	年2回対象者への案内実施	喫煙者の減少	※喫煙率： 男性は40歳以上平均は全国平均をやや下回っている。年代別では男性は特に70代、女性45-54歳が高い。 拠点別では福岡工場、東京工場が高く、HWC大阪支店は前年よりも大幅に低下している。					
参加者数(【実績値】0人 【目標値】令和6年度：5人 令和7年度：5人 令和8年度：5人 令和9年度：5人 令和10年度：5人 令和11年度：5人)-												喫煙者割合(【実績値】33.3% 【目標値】令和6年度：32% 令和7年度：31% 令和8年度：30% 令和9年度：30% 令和10年度：30% 令和11年度：30%)-												
5	既存	家庭常備薬の斡旋	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ク	上位30薬品には補助率を拡大送料健負担	シ	-	広報誌(年1回)に同封し案内書を自宅送付インターネットでの受付を開始(年2回)	広報誌(年1回)に同封し案内書を自宅送付インターネットでの受付を開始(年2回)	広報誌(年1回)に同封し案内書を自宅送付インターネットでの受付を開始(年2回)	広報誌(年1回)に同封し案内書を自宅送付インターネットでの受付を開始(年2回)	広報誌(年1回)に同封し案内書を自宅送付インターネットでの受付を開始(年2回)	広報誌(年1回)に同封し案内書を自宅送付インターネットでの受付を開始(年2回)	軽度の傷病での通院を減らし、医療費の削減を行う	該当なし					
案内送付回数(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-												常備薬斡旋利用者数(【実績値】184人 【目標値】令和6年度：200人 令和7年度：200人 令和8年度：200人 令和9年度：200人 令和10年度：200人 令和11年度：200人)-												
8	既存	インフルエンザ補助金	全て	男女	1～74	加入者全員	1	キ,ク	被保険者は社内接種と医療機関と選択可能	ア,カ	就業時間中に接種可能受診券の発行(愛知県内のみ)	インフルエンザ予防接種者に対し、一人4000円の補助の実施。13歳未満は2回まで補助。	インフルエンザ予防接種者に対し、一人4000円の補助の実施。13歳未満は2回まで補助。	インフルエンザ予防接種者に対し、一人4000円の補助の実施。13歳未満は2回まで補助。	インフルエンザ予防接種者に対し、一人4000円の補助の実施。13歳未満は2回まで補助。	インフルエンザ予防接種者に対し、一人4000円の補助の実施。13歳未満は2回まで補助。	インフルエンザ予防接種者に対し、一人4000円の補助の実施。13歳未満は2回まで補助。	インフルエンザ患者の減少を目的に予防接種の推奨	該当なし					
被保険者に対する案内の実施(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												接種率(【実績値】42% 【目標値】令和6年度：43% 令和7年度：44% 令和8年度：45% 令和9年度：45% 令和10年度：45% 令和11年度：45%)全加入者に対する接種率												
3,4	新規	歯科健診	全て	男女	18～74	被保険者	3	ク,ケ	定期健診時に実施(実施事業所はローテーションにて実施) 健診結果をもとにその場で結果を表示しブラッシング指導や受診勧奨を実施	ウ	-	2事業所での実施(公募事業対象事業所を除く) 受診勧奨の実施 実施できない事業所は歯磨きセットを配布	2事業所での実施 受診勧奨の実施 実施できない事業所は歯磨きセットを配布	2事業所での実施 受診勧奨の実施 実施できない事業所は歯磨きセットを配布	2事業所での実施 受診勧奨の実施 実施できない事業所は歯磨きセットを配布	2事業所での実施 受診勧奨の実施 実施できない事業所は歯磨きセットを配布	2事業所での実施 受診勧奨の実施 実施できない事業所は歯磨きセットを配布	歯科医療費の適正化及び、生活習慣関連疾病の発症・重症化予防	疾病分類別給付費構成比 本人は循環器系疾患が最も高く、次いで新生物、消化器系疾患が高い。 家族は呼吸器系疾患が最も高く、次いで損傷・中毒等、筋骨格系疾患が高い。					
対象者への実施率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)対象事業所への案内実施状況												要医療者の受診勧奨(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)その後の受診状況を確認												
5	既存	腸活事業	一部の事業所	男女	20～(上限なし)	被保険者	3	ケ	特定の従業員にヨーグルトを配布しインシデント検査にて改善度合いを調査	ア	-	特定の事業所で実施	特定の事業所で実施	特定の事業所で実施	特定の事業所で実施	特定の事業所で実施	特定の事業所で実施	生活習慣の改善	※生活習慣： 全体的な傾向に大きな変動は見られないが、日常生活の身体活動1時間以上、毎日飲酒がやや改善し、毎日間食がやや悪化している。 男女とも全体的な傾向に大きな変動なし。男性は生活習慣改善、日常生活の身体活動が改善し、間食、10kg以上増加が悪化している。女性は毎日飲酒、10kg以上増加、週2回以上の運動、日常生活の身体活動、生活習慣改善が改善したが、食事習慣関連(朝食、間食、飲酒量)が悪化。					
参加人数(【実績値】70人 【目標値】令和6年度：70人 令和7年度：70人 令和8年度：70人 令和9年度：70人 令和10年度：70人 令和11年度：70人)-												インシデント改善割合(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)対象者の尿検査結果で腸内環境の改善が見られた割合												

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
2,5	新規	健診前ダイエット	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者	1	ア,エ,ク,ケ	ちょこやせキャンペーンを開催、参加者・成績優秀者表彰 参加者：500円 成績優秀者3,000円 抽選で1名に1万円	シ	-	1月実施	1月実施	1月実施	1月実施	1月実施	1月実施	健診前に体重減による検査値改善	※生活習慣病の状況/生活習慣病リスク該当率 肥満：全体では昨年より減少。年代別では35歳以降で高く、特に45~49歳が高い。拠点別では東京工場、HWC大阪支店が高い。 メタボリックシンドローム 全体としては1.1ポイント減少。年代別では45歳以上で高く、特に65歳以上で大幅に増加している。 拠点別ではHWC大阪支店、東京工場が高い。 保健指導レベル 全体としては1.1ポイント減少。年代別では40~44歳で大幅減少、70歳以上では特に増加している。 拠点別では東京工場、HWC大阪支店、ウイストンが高い ※生活習慣： 全体的な傾向に大きな変動は見られないが、日常生活の身体活動1時間以上、毎日飲酒がやや改善し、毎日間食がやや悪化している。 男女とも全体的な傾向に大きな変動なし。男性は生活習慣改善、日常生活の身体活動が改善し、間食、10kg 以上増加が悪化している。女性は毎日飲酒、10kg以上増加、週2回以上の運動、日常生活の身体活動、生活習慣改善が改善したが、食事習慣関連(朝食、間食、飲酒量)が悪化。	
参加人数(【実績値】80人 【目標値】令和6年度：85人 令和7年度：90人 令和8年度：90人 令和9年度：90人 令和10年度：90人 令和11年度：90人)-												体重-2kg 腹囲2cm 達成割合(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：40% 令和7年度：40% 令和8年度：40% 令和9年度：40% 令和10年度：40% 令和11年度：40%)						健診の前年差		
5	新規	スイッチOTC	全て	男女	0～(上限なし)	基準該当者	1	キ,ク,ケ	対象者を選定し、スイッチOTCに切り替え可能な薬剤について情報提供を実施	シ	-	実施方法を検討し、トライアル実施	初年度の結果を基に継続検討	継続検討	継続検討	継続検討	継続検討	セルフメディケーションの推進	該当なし	
通知実施(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												実施後検討のため(アウトカムは設定されていません)								
その他	8	既存	契約リゾート施設	全て	男女	0~74	加入者全員	1	ス	シ	-	利用促進チラシを広報誌に同封し自宅送付 HPにも掲載 各種キャンペーンを実施	利用促進チラシを広報誌に同封し自宅送付 HPにも掲載 各種キャンペーンを実施	利用促進チラシを広報誌に同封し自宅送付 HPにも掲載 各種キャンペーンを実施	利用促進チラシを広報誌に同封し自宅送付 HPにも掲載 各種キャンペーンを実施	利用促進チラシを広報誌に同封し自宅送付 HPにも掲載 各種キャンペーンを実施	利用促進チラシを広報誌に同封し自宅送付 HPにも掲載 各種キャンペーンを実施	休暇の過ごし方の一つとしてPRし、精神疾患の予防や仕事の効率アップを促す	該当なし	
利用促進チラシの送付回数(【実績値】4回 【目標値】令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回)-												利用者の増加(【実績値】324人 【目標値】令和6年度：330人 令和7年度：340人 令和8年度：350人 令和9年度：350人 令和10年度：350人 令和11年度：350人)毎年1%増加								

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他